

2024年度(第8期) NPO法人ワネッツ 決算短信

2025年6月 NPO法人ワネッツ 事務局
お問い合わせ 事務局 岩崎 (090-5170-9495)

NPO法人ワネッツ(法人番号321000500966)では、2024年度(第8期)の決算を行いました。

(法人運営を取り巻く状況)

法人としての信頼性を向上させる等のため、2022年12月にご寄付頂いた方が税性面で有利となる、**NPO法人認定格を得ました**。これは、福井県で5番目、嶺南地方では初という栄誉となります。

この栄誉をもとに、2024年度は悲願ともいえる「シェルターインプレースの定着」にむけ、著名な先生方をお迎えして、「**これからの原子力防災 屋内退避を考える**」というセミナーを予想を上回る**100人の参加者の得て実施しました**。

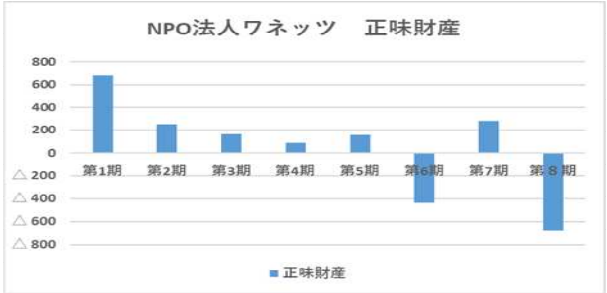
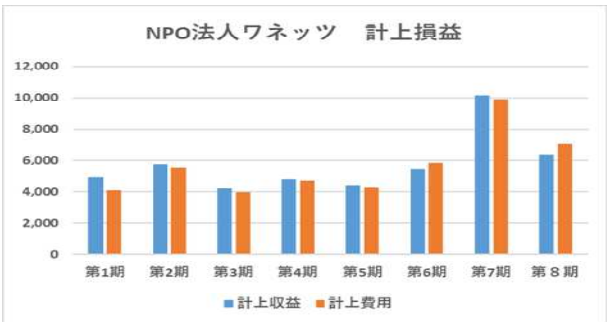
一方で、会員の減少、NEATR隊員の高齢化等、従来からある構造的な課題について、努力はしているものの、成果を得るには至りませんでした。この**構造的課題については、今後とも取り組む必要があります**。

(貸借対照表・右上段の図)

資産の部では、福邦銀行、ゆうちょ銀行および振替預金の期末口座残高の他、支払い手続を確認している未収金があります。

負債の部では、未払金の他、2025年度の前受会費、寄付金があります。

2023年度繰り越し正味財産から、今年度の正味財産減少額を差し引いた**505,864円が2025年度への繰越正味財産**となりました。



(収支分析・右図下)

収入につきましては、もっとも多く占めるのが事業収入で、ほぼ収入の半額以上を占めており、第8期は前述のとおり過去2番目に収入が多い年度となりました。事業支出を除く支出については、人件費が半分程度となっていますが、これは役員会の月例開催等による人件費(評価支出)の増等によるものとなっています。

事業分析等につきましては、別途NEATRホームページで公開する2024年度決算および会計審査報告書にて行います。

(次年度に向けて)

ご寄付いただく方の人数が減ってきており、認定格の維持のため、アウトカムを設定して取り組みます。このことを含め構造的課題の克服に向け、全力で取り組みます。

2025年度は、屋内退避セミナーを実施する必要があるため、**ご寄付の獲得や事業売上の増など、さらなる収入の確保について取り組みます**。

NPO法人ワネッツ 第8期 貸借対照表 (2025.3.31 現在)			
資産の部		負債の部	
【流動資産】		【流動負債】	
現金	0	未払金	10,005
預金	531,869	借入金	0
定期預金	0	前受会費	46,000
未収金	30,000	【長期負債】	
【固定資産】		長期借入金	0
有形固定資産	0	退職給付引当金	0
無形固定資産	0	正味財産の部	
その他資産	0	前期繰越正味財産	1,188,672
長期前払費用	0	当期正味財産増加額	▲ 682,808
		次期繰越正味財産額	505,864
資産の部 合計	561,869	負債/正味財産の部	561,869

NPO法人ワネッツ 第8期 損益計算書および計上費用内訳書 (2024.4.1 ~ 2025.3.31)			
科目	金額	科目	金額
計上収益		人件費	908,200
受取会費	558,000	(内評価支出)	905,000
受取寄付金	649,200	事業支出	4,548,341
事業収入	4,035,280	(内評価支出)	2,925,200
(内評価収入)	2,925,200	会議費	472,531
その他収益	383	(内評価支出)	140,000
物品寄付評価収入	0	旅費	34,600
労務提供評価収入	1,132,800	(内評価支出)	34,600
計上収益計	6,375,663	組織活動費	530,906
		(内評価支出)	53,200
計上費用計	7,058,471	事務費他	563,893
特別損失	0	(内評価支出)	0
差引正味財産	▲ 682,808	計上費用計	7,058,471

(損益計算書・上下段の図および左図)

計上収益が6,375,663円、計上費用が7,058,471円となり、差し引き**682,808円の正味財産の減**となりました。収支均衡の理念のもと、新たに「屋内退避を考える」セミナーを実施したことにより事業支出が増加したことによるものです。なお、費用内訳表に「(内評価費用)」とあるものは、ワネッツ会計規則に基づく正統は費用で、実際の緊急時のボランティア活動も同様に処理します。

計上損益を第1期から第8期までの会計期でみると、過去最大の第7期に次ぐ計上収益および計上費用となっており、これは上述のセミナーへの新規投資が要因です。

なお、2024年度正味財産はマイナスとなりましたが、緊急事態が発生した場合に備える適正繰越正味財産(60万円程度)は確保しています。

